

熊本大地震・被災者緊急支援 活動報告

2016年9月25日作成

この度の熊本地震で被害を受けられました皆さまに、心よりお見舞い申し上げます。
アジアパシフィックアライアンス・ジャパン(A-PADジャパン)では、皆様から寄せられたご寄付を活用し、
発災直後から熊本県益城町を中心に支援活動を続けています。以下、A-PADジャパンの支援活動に
についてご報告します。

■緊急対応(2016年4月14日 地震発生後～ 同月16日)

捜索救助活動(於:熊本県益城町、南阿蘇村)

地震発生直後に緊急支援チームを結成し、4月15日に益城町、同16日に南阿蘇村で救助犬による行方不明者の捜索を実施。警察や消防、自衛隊などと協力して対応しました。



■緊急対応(2016年4月16日～) 避難所支援活動(於:熊本県益城町)

①避難所環境整備

益城町においてニーズ調査を実施し、益城町総合体育館敷地内において、1基あたり70人程度を収容することができるバルーンシェルターによる避難所を設営しました。



②緊急支援物資配給

支援が行き届いていない小規模な避難施設のニーズを調査し、約1カ月にわたりトラックで食糧や衣料品、日用品などの物資を届けました。支援物資は、紙おむつや衛生用品、ウレタンマットレス、ビニールシート、衣料品等の日用品のほか、栄養サプリ、チョコレート、甘夏などの食品。また、仮設トイレ(洋式)、仮設風呂も設置しました。



Yahoo! ジャパンとの協働

Yahoo!ジャパンの社員6名が震災後の緊急時に、益城町総合体育館到着。A-PADに届けられる支援物資をより効率的に自主避難場所に届ける必要があった。すぐにヤフー本社の協力も得ながら、個別に電話をかけ続け、最新の状況確認に着手していただいた。収集された情報でYahoo!地図を使って独自の避難場所マップを作成するまでにわずか3時間。トラック3台で15か所を回り、通行止めなどの道路事情の中、効率的なルートで迅速に配布することができました。詳細はこちら↓
<http://csr.yahoo.co.jp/report/volume12/>

③ペット連れ家族のためのテント村の設営/運営
4月20日からは、ペット同行避難者向けのテント村を益城町総合体育館の敷地内に設置。避難者の高いニーズを受け、4月29日からは同じく益城町内にある再春館製薬所の敷地内にテント村を開設しました。益城町内2か所において、長期化する避難生活をサポートしました。2か所のテント村には延べ76世帯、277人が避難されました。

【トレーラー・ユニットハウス村の様子】



②パートナー協働事業

A-PAD ジャパンでは「佐賀から元気を送ろうキャンペーン」と協働し、ボランティア派遣活動と佐賀での被災者受入れ事業を展開するとともに車両を貸与して活動を行っています。

■緊急から復興に向けた活動(2016年5月1日～現在)

①仮設住宅までのつなぎ支援/ユニットハウスとトレーラー村の設置/運営

6月4日より、過ごしやすい避難スペースを確保するため、ペットと一緒に安心して寝泊まりできるユニットハウス(プレハブ)を79戸設置。室内には冷房、冷蔵庫、扇風機を完備しています。

そのほか、談話室、学習室、炊事場、洗濯場、シャワー室、犬・猫の一時預かり所など、入居者の方々が安心・快適に生活できるよう取り組んでいます。これまでに延べ57世帯144人が生活されました。

ユニットハウスではテントに入居されていた方や車中泊、小さい子ども連れの要支援者も受け入れ、仮設住宅が準備されるまでの「つなぎの支援」として実施しています。

これまでに48名のボランティアを派遣し、テント村やユニットハウス村の環境整備、避難者の心のケアや生活のサポートなど多岐にわたった支援活動にご協力頂いています。



特定非営利活動法人 アジアパシフィックアライアンス・ジャパン (A-PADジャパン)

佐賀事務所 〒840-0831 佐賀県佐賀市松原1-3-5 ゼロワン佐賀ビル6階

東京事務所 〒151-0063 東京都渋谷区富ヶ谷2-41-12 富ヶ谷小川ビル2階

Tel: 0952-20-2900 Fax: 0952-20-1608

URL: <http://apadm.org/japanese/about/japan/>